

議会だより

題字：井上 慧（読谷小学校4年生）

議員一般質問（15名）	10
おっは一団体さん（読谷村大正琴サークル）	20

46号

2011年6月定例議会



平成23年度 読谷村老連 健康増進グランドゴルフ大会開会式



狙いを定めて
“イヤッサッサ”



表彰式“おつかれさま”



ナイス
“イン”

議案番号	件名	結果
議案第24号	読谷村水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第25号	読谷村水道施設整備事業再評価委員会設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第26号	指定金融機関の変更について	原案可決
議案第27号	土地（農地利用集積円滑化事業用地）の無償貸付について	可決
議案第28号	沖縄県町村土地開発公社定款の一部変更について	可決
議案第29号	村道伊良皆南線の路線変更について	可決
議案第30号	物品供給{（仮称）読谷村健康増進屋外施設備品購入整備事業（競技用備品）}契約について	可決
同意第3号	固定資産評価員の選任（小橋川清弘）について	同意
報告第3号	平成22年度読谷村繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第4号	平成23年度沖縄県町村土地開発公社事業計画及び予算の報告について	報告
報告第5号	専決処分の報告（車両事故による対物損害賠償）について	報告
報告第6号	専決処分の報告（渡慶次小学校屋内運動場建築工事請負契約の変更）について	報告
陳情第1号	子どもの医療費助成の拡充を求める陳情	継続審査
陳情第2号	沖縄県教育委員会の教育事務所統廃合による、市町村教育委員会への業務委譲と学校事務の共同実施拡大への慎重な対応を求める陳情書	継続審査
陳情第3号	沖縄県教育委員会による市町村教育委員会への諸手当の認定業務の移譲受入れと、学校事務の共同実施推進拡大に関する陳情	継続審査
陳情第4号	陳情書	継続審査
意見書第5号	別居や離婚後の共同親権・共同養育及び親子の面会交流に関する法整備と支援を求める意見書	採択
	閉会中の継続調査について ①総務常任委員会 ②建設経済常任委員会	決定

第398回 臨時議会

議案番号	件名	結果
承認第1号	専決処分の承認（読谷村国民健康保険税条例の一部を改正する条例）を求めることについて	承認
承認第2号	専決処分の承認（読谷村国民健康保険条例の一部を改正する条例）を求めることについて	承認
意見書第2号	米軍属による交通死亡事故不起訴処分に関する意見書	採択
決議第4号	米軍属による交通死亡事故不起訴処分に関する抗議決議	採択
決議第5号	読谷村トリー通信施設内の海岸における放置石の早期撤去を求める抗議決議	採択

第399回 臨時議会

議案番号	件名	結果
意見書第3号	トリー通信施設内の新たな米軍施設建設に反対し、中止を要求する意見書	採択
意見書第4号	米国上院軍事委員長等の普天間基地「嘉手納統合案」提言に抗議し、その撤回を求める意見書	採択
決議第6号	トリー通信施設内の新たな米軍施設建設に反対し、中止を要求する抗議決議	採択
決議第7号	米国上院軍事委員長等の普天間基地「嘉手納統合案」提言に抗議し、その撤回を求める抗議決議	採択

第400回 定例会

議案番号	件名	結果
議案第20号	平成23年度読谷村一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第21号	平成23年度読谷村診療所特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第22号	読谷村税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第23号	読谷村体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決

トリイ通信施設内の新たな米軍施設建設に反対し、中止を要求する抗議決議

米軍は去る平成22年11月8日に宇東原・宇西原にかけて2施設を建設する目的で磁気探査を行うため、平成23年4月1日からの農耕地の明け渡しを要求してきた。

この地域は楚辺区にとって昔から聖地として崇められた地域であるばかりか38人の耕作者が夏植えのサトウキビや野菜などを栽培している。そのため、農耕地の明け渡しは正に耕作者にとって死活の問題であり、決して許されるものではない。

米軍は1951年5月に楚辺区民に対し、立ち退き命令を発し、強引に土地を接收した。その際、生産基盤を失った楚辺区民に対し、米軍は「農耕は認める。」との約束で区民はやむなく立ち退かざるをえなかった。その後、多大な費用と労力をかけて恵みある農耕地帯に改良し、生活を営んできた。

しかし、米軍は1984年に楚辺兼久ビーチの拡張をはじめとしてグリーンベレー部隊を村民の反対を押し切り強行配備を行い、農耕地を取り上げてきた。その後も1988年には農耕者約100人に対し、モータープールや倉庫の建設を理由に一方向的に通告を行い、農耕地を取り上げてきた。

現在、トリイ通信施設は縮小どころか機能強化が進行し、度重なる明け渡し要求は耕作者の生産基盤を根底から破壊するものであり、断じて許せるものではない。また、平和を愛する村民として、このように耕作者の生活を無視して一方的に通告を行い、農耕地を取り上げて基地を強化していく暴挙に対しては激しい怒りを覚えるものである。

よって、読谷村議会は、米軍トリイ通信施設内での2施設の新たな施設建設が耕作者の生活を破壊し、基地の拡大強化につながるころから、新たな施設建設に対しては厳重に抗議をするとともに建設中止を強く要求する。

1、農耕地の取り上げと基地機能強化に断固反対する

以上、決議する。

平成23年5月27日
沖縄県読谷村議会

あて先

在沖米陸軍司令部 在沖米国総領事 在日米陸軍司令部

抗議 海岸における 放置石早期撤去を

読谷村トリイ通信施設内の海岸における 放置石の早期撤去を求める抗議決議

平成23年4月22日、在沖米陸軍トリイ通信施設のビーチ前海岸に、米軍が高さと幅で2メートル程の80トンの石を放置していることが発覚した。在沖米陸軍は、ビーチ前海岸が提供水域との理由で沖縄県への申請や読谷村に事前の連絡も一切行われていない。また、漁業者や周辺住民にもなんら情報提供もない。

特に石が放置された海岸は、海岸保全上重要な地域であるとともに、周辺水域には漁業権が設置され、近くには読谷村漁協の定置網が設置されているところから、漁業活動や海岸の汚染が著しく懸念される事態である。

そのことから、読谷村議会は4月26日に現場を視察し、ビーチ前海岸に放置された石を確認した。現場における在沖米陸軍の担当者の説明によれば、工事は「軽易なもので工作物ではない。環境への影響を考えて当分は撤去しない。」と強弁しているが、提供水域だと云う理由だけでもって事前の連絡もなく、漁業者や周辺住民に不安を与えたことは決して許されるものではない。また、現場の状況を確認すれば、明らかに放置された石である。

環境と人権が最も大事にされる今日において、今回の海岸へ放置された石は台風などで崩壊するのは明白で自然破壊そのものであり、いかなる理由からしても認められるものではない。

よって読谷村議会は自然環境を守り、漁業者や周辺住民の暮らしと権利を守る立場から在沖米陸軍及び沖縄防衛局に厳重に抗議するとともに、早急に放置石の撤去を強く求めるものである。

以上、決議する。

平成23年5月9日
沖縄県読谷村議会

あて先

在沖米陸軍基地管理本部沖縄支局基地管理本部長、沖縄防衛局長



台風などで崩壊するのでは！



沖縄防衛局に厳重に抗議する！

読谷山花織” 活性化に向けて

建設経済常任委員会所管事務調査報告

日時 ◆平成23年4月18日・4月20日・5月20日

調査事項 ◆読谷山花織事業協同組合について

調査報告 ◆調査にあたっては、担当課長、担当職員から花織組合の現状、今後の支援についての説明を受け、その後県内他産地の視察を行い、そして組合施設である3工房の視察と役員の皆さんとの意見交換を行いました。



コースター (5枚組)

読谷山花織組合については、平成17年度から生産額は年々減少傾向にあり、ピーク時に比べて8分の1の規模であります。組合員についても4月現在135名に減り、その結果組合運営も少なからず影響を受けており、厳しさを増しています。

織物業界の市場が厳しい状況であり、需要が低迷している事も原因であるが、組合内部組織体制が安定してなかった事も要因の一つであります。

今年度行政も花織組合再生の為に、補助金を増やし、振興計画も作成をしました。組合も事務局長を迎え意欲的に組合活動に取り組んでおります。

読谷山花織は、先人から受け継いだ読谷村民の大きな財産であり、組合は商品開発を含め様々な工夫に努め、村民に対しても読谷山花織の普及に努めるべきであります。

議会も行政とともに読谷山花織に関心を持ち、読谷村の伝統工芸を大きな工芸産業として発展させる責務をもつものであると考えます。

委員長	大城行治
副委員長	伊佐眞武
委員	知花徳栄
”	山城正輝
”	嘉手苅林春吉
”	當山勝吉



がんばっている組合員の皆さんとの意見交換



お世話になったあの方へ特別な贈り物はいかが？

米国上院軍事委員長等の普天間基地「嘉手納統合案」提言に抗議し、その撤回を求める抗議決議

読谷村議会は村民の生命、安全、財産、平穏な生活環境を守る立場から普天間基地の「嘉手納統合案」に断固反対し、下記の事項を強く要求する。

- 1、普天間基地「嘉手納統合案」の提言を撤回すること。
- 2、日米両政府は普天間基地「嘉手納統合案」を断念すること。
- 3、普天間基地の県外、国外移設を実施すること。
- 4、SACO合意に反するパラシュート降下訓練等嘉手納基地の機能強化をやめ、負担軽減を実施すること。

以上、決議する。

平成23年5月27日
沖縄県読谷村議会

あて先

米国防総省長官 米国上院議会軍事委員長 在日米軍司令官在沖米国総領事
嘉手納基地第18航空団司令官

米軍属による交通死亡事故不起訴処分に関する抗議決議

読谷村議会は村民の生命、人権及び安全を守る立場から、日米両政府に対し、今回の米軍属による自動車運転過失致死の事故に対する不起訴処分について厳重に抗議するとともに、下記の事項について強く要求する。

- 1、国内の交通事故について、米国の第1次裁判権を放棄し、日本の司法で裁くこと。
- 2、被害者に対する謝罪と完全な補償を早急に行うこと。
- 3、米軍人・軍属等の綱紀粛正を徹底的に行うこと。
- 4、不平等、差別的、理不尽な日米地位協定を抜本的に見直し、改定すること。

以上、決議する。

平成23年5月9日
沖縄県読谷村議会

あて先

駐日米国大使、在日米軍司令官、在沖米軍沖縄調整官、在沖米国総領事

一般質問 15名議員

我が村政を問う

●伊波篤

- 1 平和村づくりの推進について
- 2 トリイ通信施設について
- ① キャンプ瑞慶覧内の司令部のトリイ通信施設への移転計画について
- ② 四月二十二日報道のあったトリイビーチ内での米軍による放置石について

●仲宗根盛良

- 1 沖縄電力が地球温暖化対策の一環で始めた「残波しおさいの森」づくり事業も終了し、残波岬は多くの樹種が植栽され、樹木も大きく成長している。
- 2 残波岬潮吹穴などの安全管理について。
- 3 役場庁舎西側通路の村花「ブルーゲンピレア」について。
- 4 五月二十五日のチャレンジャー2011 inよみたんの初参加結果について。
- 5 東日本大震災の被災地への復興支援に対する職員派遣について。
- 6 東日本大震災の復興に充てる為に国家公務員給与下げ法案が提示され、地方公務員にも給与カットするよう財務省が求めているが、本村の職員給与の改定等はどのような方向で検討しているか。

●照屋 清秀

- 1 読谷村第4次総合計画前期基本計画から。
- 2 県道12号線の歩道幅員工事に伴う代替地として、移転先を小糸製作所跡地に求める事に対し村当局のお考えを伺います。(喜名四九一番地〜四七六番地の間)。
- 3 村道喜名52号線の供用開始に伴い国道58号に信号機を設置すべきと思いますが(田場機工東側)。
- 4 村道親志喜名線の歩道側ガードレールの改修工事が必要と思われませんが(喜名二二四一番地〜二二五一番地)。
- 5 喜名観音堂祠の修繕について再度伺います。
- 6 シニア時代の健康維持・増進の為にパークゴルフ場を早急に整備すべきと考えますが。

●大城 行治

- 1 二〇一一年三月十一日マグニチュード九・〇の巨大地震と津波が東北地方を中心とする東日本を襲い、そして福島第一原子力発電所の原子炉事故が発生した。私達読谷村はどのような対策を立てているのか伺う。
- 2 二〇一一年七月二十四日は、地上デジタル放送の移行日である。基本的には国が解決すべき問題だと考えますが、村内の状況を伺う。
- 3 読谷飛行場跡地利用における「赤犬子展望広場・ロードパーク」基本構想について伺う。
- 4 指定管理による管理について。

●國吉 雅和

- 1 平成二十三年三月十一日十四時四十六分に発生した大震災で、死者・行方不明者は計約二万五千人、いまだに十二万人近くの人が避難生活を送っている東日本大震災と村の防災対策について。
- 2 交通安全対策について。
- 3 観光協会や民泊協力会及び農協、漁業協同組合と連携した体験・滞在型観光の推進について。

●當間 良史

- 1 上地にあるキジムナー広場近くの側溝について。
- 2 放射能測定器の設置について。
- 3 読谷ユビキタスガイド事業について。

●比嘉 郁也

- 1 読谷中学校跡地利用計画の進捗状況について。
- 2 読谷村ホームページのさらなる充実について。
- 3 歴史民俗資料館・美術館のホームページを立ち上げるべきでは。
- 4 (仮称)ヨミタン大学の設置に向けた取り組み状況について。
- 5 村民健康づくりについて。

●伊佐 眞武

- 1 読谷村の防災計画について。
- 2 ユンタンザミュージアム基本構想との関連で、座喜味城跡公園内の整備について。
- 3 比謝橋碑文前の生活排水路について。

●長浜 宗則

- 1 健康村づくりから。
- 2 読谷村の農政から。
- 3 自然環境の保全から。
- 4 幼稚園教育から。
- 5 読谷村の四万人達成から。

●上地 栄

- 1 去る三月十一日に起こった東日本大震災は未曾有の被害と多くの死亡者や行方不明者が発生しており、現在も約十一万人余の国民が避難生活を強いられている。そこで本村における地震・津波対策で事項等について質問する。
- 2 読谷診療所の横からホテル日航アリビラ通り、残波岬ロイヤルホテルに通じる道路が「百キロ通り」と呼ばれる程危険な道と聞いている。その安全対策について問う。(側溝蓋、交通標識等)。
- 3 本村の平成二十二年度教育要覧の中で、教育目標として芸術・文化の振興(P15)が記述されているが、具体的に各学校にどのように指導しているか。又、古堅小学校において地域、ふるさと学習(P70)が記述されている。更に古堅中学校においても特色ある学校づくりの中で伝統文化の継承(P93)が記述されている。そこで、両校の具体的な取り組み内容について問う。

●山城 正輝

- 1 再び座喜味区2班カミヤマフの前の川(座喜味区五百五十番地南)に於ける浸食対策について。
- 2 国民健康保険料滞納整理と高額療養費還付問題の報告について。
- 3 旧読谷飛行場北東地区の返還地跡利用等について(先進農業支援センター北側)。
- 4 平成二十年度(二〇〇八年)村民所得(村民一人当たり)に於ける県平均への接近について。
- 5 旧読谷中学校用地等村有地の処分について(村民へのアンケート調査の結果に関して)。
- 6 旧読谷飛行場跡地(行政センター等)に一大桜の観賞地区を設定すべきことについて。

- 4 比謝地域内の村道認定申請について。

●城間 勇

- 1 防災計画について
- 2 キク農家の支援策について。
- 3 企業誘致について
- 4 道路及び排水路の整備について。

●上地利枝子

- 1 AED(自動体外式除細動器)について。
- 2 自主防災組織の意義について、どのように考えていますか。
- 3 本村における「災害時要援護者の避難支援ガイドライン」の策定は、どうなっていますか。
- 4 ファミリーサポートセンター設置に向けての進捗状況について。
- 5 本村における介護認定の状況について(平成二十二年度)。
- 6 波平区東門交差点への信号機設置について。
- 7 幹線農道、村道波平〜残波線の側溝部分の安全対策について。

●津波古菊江

- 1 大湾アガリヌウガン遺跡について。
- 2 長田川流域の保全と環境整備について。
- 3 長田川清流の会の皆さんが毎週土曜日長田川流域とグスク周辺の草刈りや植樹等の清掃活動が続けております。皆さんから今後の活動を展開していく上での課題について伺います。
- 4 わんぱく広場について。

●山内 政徳

- 1 投票所入場券に宣誓書の記入ができないか。
- 2 四月二十三日にオープンしたファーマーズマーケット(ゆんた市場)の状況はどうか(売上、来店者、生産農家数等)。
- 3 被災者支援システム導入予定について。
- 4 本村の防災対策はどうなっているか。
- 5 村民一人当たりの所得について、最近の状況はどの部分の所得が減っているのか。



伊波 篤

平和村づくりの推進の為「艦砲ぬ喰えーぬくさー」の歌碑建立ができないか。

答 楚辺区でも取り組みがあるという。現在の取り組みをさらに発展させることでその意義はさらに増すと考えている。村内において「さとうきび畑」の歌碑建立が進められている。「艦砲ぬ喰えーぬくさー」の歌碑と一緒に建立することで戦争の風化を止め、その実相を伝え後世に正しく伝

える手法になると思うが。

答 大変いい御提案だというふうを感じる。場所の特定もしながら議論していきたいと考える。

楚辺区あるいは有志で「艦砲ぬ喰えーぬくさー」の歌碑建立の実行委員会が立ち上がったら行政として支援していく考えは。

石嶺村長 非常に素晴らしい歌であると思っております。行政も一緒にやっていきたい。例えば「艦砲ぬ喰えーぬくさー」大会等読谷だけの話でもないと思うので、いろいろな意味で広がりを持った運動をやっていたらと思う。

キャンプ瑞慶覧指令部のトリイ通信施設への移転計画について。

答 計画については村は基地機能の強化にならないように申し入れを行っている。模の縮小、補償については。

答 規模の縮小や協議の場の設置については努力していく、補償については制度的にできないという回答であった。

文化財の試掘調査結果は。

答 タシーモ一南方で七カ所、ウガンピラー南方で三十カ所の埋蔵文化財が確認されている。磁気探査の結果も文書で

回答をもらうべきだと思うが。

答 そういった方向も考えて早目に対応をとっていきたいと思う。

六月二日現在の計画とは別に八〇〇坪の施設計画があると報道された、村は承知しているか。

答 防衛局に確認した所まだ詳細については把握してない、村がつかんでいるのもそのぐらいです。

基地機能の強化、農耕をしている実態からするときちっとした態度で臨むべきだと思う。新しい施設ができる等があれば、交渉の窓口は区ではなく、



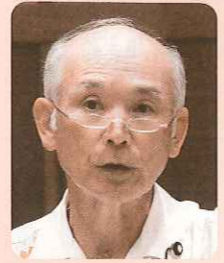
「艦砲ぬ喰えーぬくさー」の歌碑建立は区民の願い

行政に一体化するよう提案するかどうか。

答 防衛局にその申し入れをしている。わからないではなく、わかる努力をしていく。

関係者一堂に集まって、最終の確認はとらないといけない。その努力はしていきたいと思う。

問



仲宗根盛良

一、沖縄電力が残波岬での「残波しおさいの森」づくり事業の成果を伺う。

答 残波岬公園の自然環

ど設けられないか。

答 安全確保の立場から看板を設置し、転落防止の柵などを構じていく。

四、旅うぐい毛のレリーフが一部欠損しており、修復の方策はないか。

答 関係者とも調整の上、修復を検討する。

五、十四年前に植栽され

村花はこれからも村民へ推奨していきます。

再質 庁舎建設に関わった副村長の考えを伺う。

答 村花を推奨し、庁舎建設時にアーケードを設けて読谷らしさを表現する為に植栽された。

六、庁舎敷地内の植栽計画はどうなっているか。

健康づくりは継続して運動する事が重要であり、その意識づけの為に来年も参加をしたい。

九、各字対抗や村独自の方法など奨励する計画はないか伺う。

答 本村の気質にも合っており、区長会とも協議して参ります。

切であり、震災に伴い現計画を抜本的に見直す。

十二、大震災の復興財源に充当の為、国家公務員の給与引き下げ法案が提案されている。本村職員の給与改定の動向を伺う。

答 給与改定についてはまだ検討に入っていない。

再質 国民全体の経済活

般

境回復を大きく促進させ、次世代につなぐ大きな財産となります。

二、隣接する県の潮害防備保安林がほとんど枯れている。県との連携は。

答 植栽に向け県との連携を強化していく。

三、残波岬潮吹穴は危険な状態にあり、安全柵な

た役場庁舎西側通路の村花「ブーゲンビレア」が全部切除されている理由。

答 管理が行き届かず樹形も壊れ、庁舎の美観も損ねており、維持管理も高くつくので切除した。別の植物を植えていく。

再質 村花についての基本的な考え方を伺う。

当初計画された以降はない。今後は管理計画の中で考えていく。

七、五月二十五日のチャレンジデーの村民の反響は。

答 村民が運動を行うきっかけ作りや地域での話し合う良い機会となった。

八、今後も継続して参加する考えがあるか。

東日本大震災の被災地への職員派遣とその実績内容を伺う。

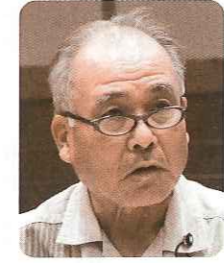
答 岩手県の大船渡市に二人、宮城県石巻市に二人を派遣し、復興復旧支援活動を行って来た。

十一、本村の防災計画に活かせる方策はないか。

答 日頃からの備えが大



残波の「潮吹穴」



照屋 清秀

一 読谷村第四次総合前期基本計画から、安全・快適・潤いのある安心・安全な村づくりから。

(a) 防災体制の確立は。

答 災害対策基本法に基づき、平成二十二年三月策定。様々な災害予防、災害応急対策、災害復興等、順次整備。

(b) 防災拠点の整備は。

答 防災総合管理施設は

役場、各公共施設を避難施設の位置づけ。備蓄倉庫は役場の倉庫。今後、十一カ所の公園や村民センター地区の広場等順次整備を進めている。

(c) 教育施設での防災訓練は。

答 小中七校で、毎年地震、火災、不審者への避難訓練を行っている。津波を想定した避難訓練は、実施計画書作成し、予定している。

(d) 各字での防災対策は。

答 現時点での対策は万全ではない。地域において自主防災組織を結成し、防災計画作成や避難訓練を行う為の作業中。

地域内の電柱に海抜を示すシールの貼り付けは。

答 地域の公民館で海抜数値は学習会の中で行っている。基本的データの認識は公民館の役員の皆様で行っていると考える。

二 県道十二号線歩道拡幅工事に伴う代替地の移転先地を旧小糸製作所跡地へ。

答 代替地の相談を受けた事はない。地域との意見交換も必要と考える。

再質 小規模多機能施設への売払いがあった中、代替地の相談には。

答 喜名区の経緯を十分

持ちながら、意向を大事にしたい。

三 村道親志喜名線の歩道側ガードパイプの改修工事が必要と思うが。

答 歩行者の安全確保の観点から予算をかんがみ改修工事を行う。

四 喜名観音堂祠の修繕について観音堂は有形民俗文化財をユンタンザミュージアム基本構想に位置づけられている中で修繕は可能と思うが。

答 祠に有形民俗文化財建造物としての価値評価



歩道拡幅工事に伴う代替地を旧小糸製作所跡地へ

を併せ与え、取り組む。

五 パークゴルフ場の早急な整備を。

答 具体的実施計画ない。



長浜 宗則

健康村づくりから。

あ) チャレンジデーの成果は。

答 村民一万四四六二名の参加があり、健康づくりの意識の共有と地域づくりにある程度啓蒙できた。い) 今後の取り組みは。

答 各団体等から意見を聴取して分析後、来年に備えたい。

う) 名寄市と人、物の交流機会を広げたら。

答 今回の縁を大切に、人、物の交流は提言として受けとめる。

読谷村の農政から。

あ) 農業のビジョンを問う。

答 作物に地域ブランド化による付加価値が得られる収益性の高い農業と環境保全型を推進し、地域の環境と調和した農業の確立を目指し、農作物等の販売・流通については、新鮮・安全・安心な生産物の提供など地産地消を推進する。

い) 二十一年度、農業人口、生産高、作付面積、主な作物は。

答 農業人口約五九七名、作付け面積三二四、二六ヘクタール、生産高約十六億一、七三三万円、菊、サトウキビ、紅イモ、ゴーヤ、

インゲン、フルーツパパイヤが主な作物である。

う) 地産地消の現状は。

答 学校で主に実施しており農産物は約八二品目で金額五〇五万円、加工品約十四品目で金額で百八十万円の実績である。

自然環境の保全から。

あ) 長田川流域の整備の予定はないか。

答 手つかずの自然が残る貴重な河川であり、次世代に継承すべき自然環境や自然空間が多く残されている、生態系を崩さないよう自然の状態を保持したまま利用を検討したい。

い) 木道を設置し水辺の観察地域として保全できないか。

答 自然のなるべくそのまま残したため、木道とか護岸とかは、人為的に自然を壊すのではないかと考える。残っている自然を残す形が一番いいと思う。

う) 長田川流域に貴重な動植物が存在している可能性が推測されます。

調査し保護すべきでは。大湾東地区の区各整理事業に伴い水質、動植物の環境調査予定している。

幼稚園教育から。

あ) 幼稚園の二年保育の導入予定はないか。

答 「読谷村幼稚園教育振興計画」の中で、幼児数の動向や各園の空き教室の状態、園舎整備等を

勘案しながら、二年保育の受け入れを検討する事になっている。

い) 二年保育にむけ現状と課題は。

答 空き教室がなく、園舎整備、設備面の確保から問題がある。幼少連携を推進していきたい。

読谷村人口四万人から。

あ) 村から町、市への移行を検討したことありますか。

答 「人間性豊かな環境文化村」を村民一丸でとりくんでまいりましたので、町制、市制への話し合いはしていません。

い) 町制への移行でメリットはないか。

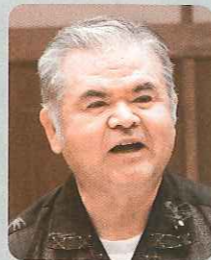
答 特段メリットはない

中学校では選択音楽での三線が取り入れられている。

再質 平成二十四年度より中学校において空手を取り入れると聞いているが。

答 本村においても平成二十四年度より武道として空手を取り入れる予定である。

問



榮 上地

去った三月十一日に起きた東日本大震災は未曾有の被害と多くの死亡者や行方不明者が発生した。

←

トが動き、大地震、津波の可能性があると聞くがどうか。

答 直接の可能性についてはお答えできないが、災害対策として可能な限りを想定している。

質三 大地震、大津波が発生した時の対策は。

答 震度六弱以上の大地

←

←

←

←

質

般

そこで本村における地震・津波対策は。

質一 一七七年の明和の大津波前後から発生した地震・津波の被害は。

答 明和の大津波から一九九二年までの主な地震・津波被害として二十二件ある。

質二 沖縄近海でプレ

震の場合は、第四配備体制の下、全職員が非常召集となり、消防や消防団を中心に救助活動や避難準備体制がとられる。

質四 楚辺を含め、海岸地区の災害対策と訓練は

答 海岸沿いの集落、長浜、都屋、楚辺、渡具知については、津波被害を

療養費の還付金がもらえなくなつた事をどう考えていますか。

石嶺傳實村長 八十数回に渡つて分割納付して頂き、感謝申し上げます。

川による屋敷浸食設計で対応！

山城 座喜味二班における個人有地の浸食をどう考えていますか。

新城直喜土木建設課長 地籍の測量とあわせ、整備方法や概算事業費算出の概略設計を検討します。

旧飛行場北東地区

村としても支援！

山城 支援センター北、読谷道路東の返還跡地の状況と、村の方針はどうなっていますか。

大城友誼跡地利用推進課長 昭和五十三年返還、六、一ha、一一一筆、地主八三人。基本計画で地権者の実体的な取り組みを支援し、財政状況に対応して進めるとなっています。地権者組織の立ち上げが必要です。

旧読中アンケート「住環境や景観」重視！

山城 読中跡等村有地は、村民の為にこそ最優先に利用されなければなら

いと考えますがどうですか。

与那覇操企画財政課長 アンケートで地域には、「公園、緑地を期待」が最も多くなっています。

読中跡は、売却、貸し付け、公共施設、代替、用途変更も含め、皆さんと意見交換しながら、総合的な活用を検討します。

村民所得（一人当り）県平均に接近！

山城 平成二十年度、村民一人当り村民所得が接近した事を評価しています。その要因と村の考えているリーディング産業と観光産業の現状をどう考えていますか。

与那覇操企画財政課長 要因は、村では製造業で割合の大きい食品製造が増となつて、押し上げた事です。観光客人込数も好調といえます。

石嶺傳實村長 当然、県平均に最低でも近づく努力をしないとイケないと思います。



危険極わまりない100キ口通り波平～残波線



旧飛行場北東地区



大城 行治

三月十一日マグニチュード九、〇の巨大地震と津波が東日本を襲い、そして福島原子炉事故が発生した。私達の読谷村は、どのような対策を立てているのか？

質 公共施設は現在の耐震基準に適合しているか。

答 公共施設としての建物は九十六件あり、その内十三件は、以前に建築確認を受けた建物で、災害時の避難所となる施設は四件である。そして耐

震基準を満たしていない建物は三件ある。新しい基準で立て替えていく。質 本年度、防災計画の見直し作業を行う予定だが？

答 本年度はハザードマップ作成をして全世帯に配布する。二カ年事業で、防災計画を作る。七月二十四日は地デジの移行日である。読谷村から地デジ難民を出してはならない。

質 村内の普及率と高齢者世帯の地デジ移行状況そして今後の課題は？

答 現在、村では八十七、八%の普及率である。読谷村においても村にサー

ビスの観点から、全世帯普及に向けた取り組みを可能な限り国、県に協力していきたい。

読谷飛行場跡地利用に「赤犬子展望広場、ロードパーク」構想がある。

質 今後のおおよその工程、予定は？

答 十一、七ヘクタールの面積を予定している。住民説明会での要望や意見を反映したい。読谷道路、大木地区区画整理事業等、周辺整備の状況を踏まえ実施計画を立てていきたい。

再質 この場所を中心に飛行場跡地に自転車道路を整備して地域の活性化

につなげられないか？健康、観光、そして観光資源にもなる。

答 広大な面積、地理的条件を生かした計画を立てていきたい。

指定管理者制度は、民間のノウハウの活用とコストの削減そして民間の柔軟な発想を取り入れるという制度である。読谷村は一つの会社、二十六の団体が指定管理を受けている。

質 七つの会社、団体の現状をうかがう（・花織事業組合・読谷ククルリゾート沖縄・残波ビーチ・ニライビーチ管理組合・ユンタンザ十八番市、村

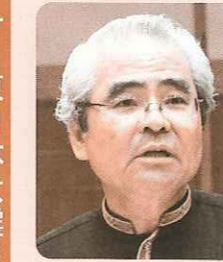


公園(ロードパーク・赤犬子展望広場)位置

おこし共進会・残波かりゆし会)

答 各施設説明、管理条例の趣旨を達成する為事業及び経理の報告を求め、実施調査をし、適宜行政指導を行っている。

問



國吉 雅和

一 東日本大震災と村の防災対策について。

①村の義援金、一千万円の根拠と村民の義援金額を伺う。

具知地域等と西海岸リゾートの避難誘導を伺う。

答 大震災を踏まえ、海岸線の集落で「自主防災組織」に取り組む議論をしている。ホテルは上級階が避難場所です。

④地域コミュニティの形成との関係は。

答 地域で助け合える仕

情報をリアルタイムで提供できません。改善については、村の地形上難聴地域があり、全域補完できるアンテナを設置し、改善を支援していきたい。(補正にて補助金二五〇万円)

二 交通安全対策について。

①高志保公民館より郵便

たが、地域の皆さんの聞き取りや現場調査をしたい。

③旧読中前信号機を廃止し、波平東門前県道への信号機設置について。

答 通勤時間帯に九〇〇台余りの車が集中し、地域の皆さんが交通安全指導をやっていたら、児童生徒の安全は保たれて

の挨拶で迎えたい。

答 自然と文化の地域資源を活用した「体験滞在型観光」を促進し、スポーツコンベンションとして、平成二十四年度「全国シニアソフトボール」の開催を予定しています。

質

股

答 特別交付税の割を見込み、五月末現在村民より九百万円です。

②村内への避難状況と派遣支援を伺う。

答 八世帯で十三名。職員三名と職員組合一名で、岩手・宮城県に派遣し報告会を開催。

③長浜・都屋・楚辺・渡

組みづくりを通してコミュニティに参加し、自主防災や、清掃活動・文化活動もましようという機会を準備したい。

⑤「FMよみたん」の役割と放送エリアの改善について。

答 災害が起きると、村民の生命・財産に関わる重要な

局方向への通学時間帯の一方通行について。

答 嘉手納署は「時間帯の一方通行は行わない」との回答でした。議員の提案を踏まえ対策を考えていきたい。

②やまびこ薬局横より一方通行の検討について。

答 嘉手納署は「一方通行は行わない」との回答でし

います。この対策もこれから直ちに考えていきたい。

三 体験・滞在型観光の推進について。

①一億円の経済効果を生む民泊協会を中心に観光協会と村内事業者が民泊による地域振興が進められています。

村長答弁 入村式で歓迎



災害放送に取り組むFMよみたん



當間 良史

質一 「上地池之当のキジムナー広場近くの側溝について」上地区の池之当の農道わきにある側溝にはふたがなく、大変危険であり、通学路として通る学生も多いため、早めの対応を求める。

質二 放射能測定器の設置について。

①いまだ終わりの見えない福島第一原発事故より国民及び村民の不安が高まる中村民の不安を取り払う為、放射能測定器(ガイガーカウンター)を各小学校及び中学校に設置しては。

答① 去る三月十一日の東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故に伴い、文部科学省の指示により環境放射能調査が強化されている。沖縄県における調査結果については、毎日ネット上で公表

調査結果では、異常は認められません。現時点では学校などへの設置は必要ないものと考えております。

②観光アピールとして世界に向け、放射能数値を村独自で発表しては。

答② 原発事故の避難先や近隣の県では、放射能被害や風評被害に苦しんでおります。このような中観光集客のため放射能数値を材料として使うということに関してはかなり評価が分かれることだと思つ。

質三 読谷ユビキタスガイド事業について。

①ユビキタス事業がスタートしていますが、事業がスタートした経緯と現在の進捗状況は。

答① 平成十九年総務省「ICT改革促進プログラム」に基づく「ユビキタス特区」への申請を行った。その後村商工会、村観光協会、沖縄国際大学、ユビキタス・ネットワーキング研究所が連携しユビキタス事業のフォローアップを行ってきた。

②費用対効果は。

答② 八月の運用開始から年度末までの携帯端末の貸出数は十回であります。

再質 これまでにかかった費用は、また、売り上げは。

答 事業総額は五〇〇〇万円ほどの事業であります。実質的な売り上げは十回の利用があり一回五百円ですので五〇〇〇円となっております。

再質 今後中国語韓国語等を取り入れ、観光に貢献できるように期待する。



上地池之当にある農道の側溝



比嘉 郁也

読谷中学校跡地利用計画の進捗状況について。

問一 アンケートの調査結果とその評価について
答 企画財政 興那覇操
アンケートの回収率は一〇、八%でした。多くの回答者が「住宅地や公園」「商業施設」「医療施設」の立地を望むものが多くなっております。特に読谷中学校区においては「商業施設」を望む回答が多くなっております。今回のアンケートでは読中の跡地利用に関する意向の

みでなく今後の村づくりに対する村民の意識やニーズを一定程度把握することができて今後の参考にしていきたいと考えております。
問二 売却に際しての検討結果の内容は。
問三 その他に役場内部議論はいかようなものか。
答 売却の方針を進めておりますが、アンケート結果を踏まえて、売却以外に、貸付けや公共施設の立地など可能性を想定した上で用途地域の変更も含めた総合的な土地利用を検討していきます。
再質問 新たな跡地利用策定業務の発注に際し企画会社「デベロッパ」を対

象に全国公募しては。
答 村のあるべき姿、ビジョンがございまして、条件等々は当然申し上げるつもりでございます。
読谷村ホームページのさらなる充実について。
答 ホームページの情報と機能の充実は大変重要な課題と考えております。
再質問 各課において即時性、操作性、検索性に課題があるのではないかと。
答 システム事態がすでに五年経過しており職員からも意見があり、それも踏まえながら、村民の視点にたつて改善していく。
歴史民俗資料館、美術館のホームページ

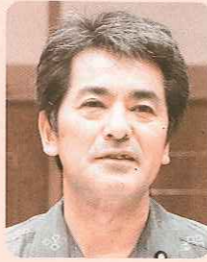
を立ち上げるべきことについて。
答 文化振興課 仲宗根求
いつになるかわかりませんが新しい歴史民俗資料館を計画する際に検討してまいります。
問二 県内市町村の状況はどのようになっているか。
答 十八館中九館はすでにホームページが開設されております。
(仮称)ヨミタン大学の設置の取り組み状況について。
答 石嶺博實 村長
開校を次年度として、ヨミタン大学では、その学ぶ機会を提供するとともに「地域の活性化に向けた人材の

育成」「新たな村づくりの協同の担い手の育成」「村民ネットワークづくりの場」として設置し、卒業した受講者が地域の活性化の核となり、新たな村の創造発展を期待する。
村民健康づくりについて。
答 健康づくりを村全体で推進し、日常生活に運動を取り入れ意義を共有。
たところ、対策を検討するとの回答です。
四 比謝地域内の村道認定申請について。
質 現場は第一種低層住宅専用地域であり、道路ができる意義は大きいと思えますがどうですか。
答 その意義は大きいと考えており上位計画との



読谷村のホームページ

問



伊佐 眞武

防災計画について。

質 ①地震に対してどのような対策がありますか。
答 読谷村地域防災計画

仕方面で問題があると専門家は指摘している。行政の対処として、沖縄県民間住宅耐震診断事業補助金要綱を活用する必要もあるのではないかと。
答 この補助事業を導入するに当たっては村独自の耐震改修促進計画をつくって予算を確保する必

を重ね、方向性を出していきたい。
質 避難ビルとして、民間のアパート等と協定を結ぶのはどうか。
答 地域にどれだけ防災施設としての資源があるか調査が必要である。
二 ユンタンザミュージアム構想との関

え予定はありますか。
④公園内樹木に樹標を。
答 ①将来の歩道再整備時に検討したい。
②文化庁の許可が必要。
③トイレのドアは指摘後に修繕済。東屋はカワラぶきを検討している。
④樹標識は取り付けた。
三 比謝橋碑文前の

生活排水路について。
現場は、読谷村の表玄関であり、歴史的にも由緒ある場所である。文化村読谷村として放置できない問題であります。
質 排水路は露出の状態で汚水が比謝川に流れ込んでいます。その対策は。
答 土地所有者へ連絡し



質

般

において、地盤災害防止対策。急傾斜地崩壊対策。河川災害防止対策。道路施設整備対策。上水道施設防災対策等があり、それぞれ分野で耐震性の確保に努める。
質 民間住宅においてはピロティ式の住宅やアパート、水タンクの設置の

要があります。
質 津波に対する対処は。
答 津波避難計画。津波危険に関する啓発対策。などがあります。
質 国道、県道沿いや、地域内に海拔高さ標示が必要ではないですか。
答 地域の自主防災組織の取り組みの中で学習会

連で座喜味城跡公園内の整備について。
質 ①公園内の歩道は、世界遺産にふさわしく、石畳造りにしてはどうか。
②城跡最上部は、ある程度の風でも展望できる工夫が必要ではないかと。
③郷土の広場トイレのドアの改修と東屋のふき替

員の皆様が温泉つきリゾートホテルの実現について村長に要望がされております。計画されるホテルへの進入路が土地改良事業の地区内を通過するルートになっており、農用地からの除外手続きを必要とするため、現計画の実現は、難しいものと考えております。
質 泊城公園と温泉つきリゾートホテルが連携すればすばらしい観光地、行楽地、保養地として、脚光を浴びると思えますが。
答 渡具知区を含め、南部地域住民よりの要望を重く受け止めております。農振農用地除外による計

画の実現は厳しい。そのほかの手法があるか含めて慎重に対応したい。
四 道路及び排水路の整備について。
質 マックスバリュ読谷古堅店の後の道路及び排水路整備のめどは。
答 概略設計を終えております。整備のあり方など合意形成が必要。



比謝橋碑文前の生活排水路



城間 勇

防災計画について。

質 急傾斜地崩壊危険箇所について、大添とミサワ地区ガジュマルとかギンネム等雑木が生えてきて、防災対策のフェンスのネットを押し上げている。伐採すべきでは。
答 危険ですので、ガジュマル、雑木を伐採すべきだと思います。
質 比謝川の比嘉さんの敷地の背後地、去年の大

大きな岩が落石しております。防災対策を検討すべきでは。
答 周知の危険な箇所ということで現在のハザードマップに掲載しております。内部で調査をしていきたい。
二 キク農家の支援策について。
質 東日本大地震の影響で彼岸時期のキク需要が激減し価格が急落出荷停止となり、死活問題となっております。
答 県議会で被害生産農家への支援として、農業、肥料費補助、セーフティネット資金などの無利子支援を決定。

三 企業誘致について。
質 渡具知海岸沿いの遊休地への温泉つきリゾートホテルの実現に関する要請が渡具知区から提出されております。温泉の湯量把握の温泉掘削工事を早期に実現させる要望事項があります。
答 渡具知の返還軍用地の海岸沿いに、唯一未利用地で残っている木綿原地域の土地を、民間活力による有効利用を促進し、雇用の確保、地産地消、体験学習、温泉療養等癒しを人々に提供し、将来の渡具知の発展につながる拠点施設として、渡具知区長、渡具知区審議委

重く受け止めております。農振農用地除外による計

画の実現は厳しい。そのほかの手法があるか含めて慎重に対応したい。
四 道路及び排水路の整備について。
質 マックスバリュ読谷古堅店の後の道路及び排水路整備のめどは。
答 概略設計を終えております。整備のあり方など合意形成が必要。

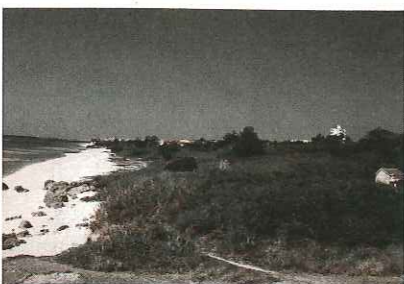
雨のときに屋敷のほうに

子支援を決定。

重く受け止めております。

重く受け止めております。

重く受け止めております。



渡具知区が要望している泊城公園リゾートホテル



上地利枝子

自主防災組織の意義
について、どのように考えていますか。

答 「自分達の地域は自分達で守る」という自覚と地域共同体としての連帯感をもって、自主的に結成する組織である。その目的は、災害による被害を予防し、軽減する為の活動を行う組織です。地域の皆さんが、日々安心、安全に暮らす為の取り組みとして防災活動は重要であり、隣保協同の

精神に基づいて結成された自主防災組織の地域での活動は、災害対策では災害を小難に、小難を無難にする重要な役割を担うと考えております。

「災害時要援護者の避難支援ガイドライン」の策定は。

答 災害時においては、自分自身や家族による「自助」または隣人や友人など地域で助け合う「共助」が重要となってまいります。要援護者情報が個人情報になることから、防災関係福祉関係部局等での情報の共有や活用、避難支援者の設定などの問題があり、具体的な策定まで

には至っていない現状です。

いずれにしても、関係部署間への要支援者本人やその家族から情報公開の同意を得ながら、要援護者登録台帳の整備を進めながら、今後地区別避難プラン作成に向けた基本的な考え方、ルールづくりを念頭に、その支援対策を地域住民参画と関係機関等と取り組んでいきたいと考えております。

本村における介護の状況について、施設に入居出来ずに待機している方々の家庭での介護状況はどのようになっていますか。

答 要介護状態によって

違います。訪問介護

(ホームヘルプ) 通所介護(デイサービス) 通所リハビリ(デイケア) 福祉用具購入などを利用しているのが現状です。

再 在宅で介護している方々への負担軽減についてはどのようになっていますか。

答 介護者本人が自分に自身の時間をつくるかというのは今後大きな課題となると思います。ケアマネジャーがつくった時間帯以外を行政や地域でどのように支えていくか、これからは施設に入れない為在宅で介護をせざるを得ない状況が増えてくると予想され



これからの介護はみんなで考えよう！

ます。いかに介護をする人の負担を軽減するかというのが今後大きな課題だと思っております。

波平区東門交差点への信号機設置について。

答 嘉手納署としましては新設に際しても嘉手納署管内での優先順位は低いとの回答でございます。

問



津波古菊江

質一 大湾アガリヌウガン遺跡について。

平成二十一年十月〜平成二十二年三月(二次調査)平

岩丘陵地でがけ下には長田川が流れる大湾の押所でアガリヌウガン一帯発掘された遺物は十二世紀〜十三世紀の頃の土器や徳之島、長崎、中国製の陶器や磁器、古銭、鍛冶屋跡、鉄屑、建物跡が見つかっており、時代は約八百年前まで泰期や護佐丸より古い時代である。

り又歴史を土台として地域コミュニティを確認、形成する地域づくりの視点を置いた利活用も可能と環境整備について。

質二 長田川流域の保全と環境整備について。

答 長田川流域は都市計画マスタープランにおいても保全区域に位置づけられていて、沖縄県の中部広域緑化計画の中にも位置づけられており、予算が伴うので県との協議も必要であり、最終的には買取り義務も生じてくるので検討課題。

質四 わんぱく広場
家庭教育支援事業として低学年の児童生徒の放課後の居場所作りの活動状況と課題について何う。

開催日増は公民館との調整で厳しい。見守り隊の人員確保で地域差、報償費、対象人員増、見守り隊協力者確保に苦慮、努力していく。

般

成二十二年九月〜十二月(二次調査)にかけて発掘調査された結果について何う。

答 ①発掘場所、発掘された遺物と時代背景。
②発掘調査の今後の予定と遺跡の保存とその活用方法等について。

再質 ゴルフ場が完成、区画整備事業も始まり、川辺の土地も個人に返された中、今後どのような保存のあり方が必要か伺います。

答 緑地保全等の環境整備をどの様に考えているか伺います。
答 生態系を壊さない様自然の状態を保持したままの利活用を考えている。



拝所 アガリヌウガン一帯の石積



山内 政徳

質一 投票所入場券に宣誓書を印刷できないか。

答 今後、豊見城市、那覇市が行っている状況が公明な適正な選挙投票ができていくという情報があれば今後検討していきたい。

ファーマーズマーケット(ゆんた市場)の状況はどうか。

答 四月二十三日から五月三十一日まで売上額五千五百二十九万一千七百三十三円、一日平均が百三十八万円、来店者数四万二千〇〇〇人平均千三十名(レジ通過者)登録農家は五百九十名、現在まで出荷した農家加工業者数は三百名であります。

質三 被災者支援システム導入について。

答 これまで当該システムの存在を知りませんでした。

したので導入の議論はありませんでした。ご紹介を受け調査してみたところ、阪神淡路大震災で大きな被害を受けた西宮市が独自に開発をし総務省や財団法人自治情報センターの協力で改良を重ねられ、現在多くの自治体に普及しているとの事であり、紹介いただき感謝申し上げます。

質四 本村の防災計画について。

答 現在の防災計画は平成二十二年三月に改定されたものです。

再質 津波が来そうな地域は高い建物は何戸かあつていいのではないか。ぜひ検討を。

質五 村民一人当たりの所得について、最近の状況はどの部分の所得が減っているのか。

答一 「財産所得」「企業所得」で減少しております。

答二 今後も読中跡であったり大木、大湾東、そこへの商業拠点の立地ができたかと思っております。



投票率 100%めざして (村内生徒の作品)

オツハ一団体さん40

読谷村大正琴サークル

『読谷村大正琴サークル』伊礼久子先生のもと、私達大正琴サークルは毎月第2月曜日、第4月曜日の午後1時半より午後3時半まで92歳を頭に30名の会員で楽しく頑張っています。

2008年には、楽しい沖縄の唄や大正琴のしらべも編集して下さっています。古典は必ず、1000曲以上マスターさせるとおっしゃっています。

古典あり、童謡、民謡、演歌、ナツメロ、四季、どんな唄でも譜面を作ってお下さる先生です。

どうぞ、皆様、時間の許す方は大正琴サークルに参加してみませんか。

サークル長 玉城美江子

9月議会は9月6日からの予定です。

